

教職マインドマップ作成によるキャリア基盤形成の試み ～教職キャリアノートを活用した省察の統合化～

奥田紀久子¹⁾ 中窪萌子²⁾ 大坂京子¹⁾ 宮崎久美子¹⁾

1) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 2) 徳島大学大学院保健科学教育部

1. 研究の背景と目的

「教職実践演習」は、教育職員免許法施行規則の改正に伴い、平成22年度入学学生から「総合演習」に代わって新設された教員養成課程必修科目である。「教職実践演習」は、教職課程の履修科目や教職課程外での様々な活動を通じて学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、課程認定大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するもの¹⁾とされており、4年次に教職課程の総括的な位置づけとして履修が義務付けられている。徳島大学医学部保健学科では養護教諭一種免許状取得のために今年度初めて「教職実践演習(養護)」を開講した。「教職実践演習」における学生の学習活動は表1の通りである。

表1. 教職実践演習の学習活動

時期	活動内容
1年次3月	教職キャリアノートの作成についての説明会
2年	教職キャリアノートによる省察
3年	教職キャリアノートによる省察
4年後期	教職キャリアノートによる省察 教職実践演習履修

この中で、教職マインドマップは、養護教諭としてのキャリア形成の基盤として独自に考案したものである。マインドマップは、Tony.Buzan が提唱した思考・発想法の

ひとつで、表現したい概念の中心となるキーワードやイメージからそれらを放射状に広げ、思考の整理や発想力を豊かにすることなどをねらったもの²⁾である。今回、学生は養護教諭にとって必要だと思われる資質や能力を整理し、それらが今まで自分たちが学んできたどの科目により培われたかをマップに表すことで、

4年間の学びを統合的に省察する学習活動を行った。

本研究は、養護教諭にとって必要な資質や能力を学生がどのようにとらえ、それぞれの資質や能力がどのような教科や経験により養われたと認知しているかを明らかにすることを目的としている。

2. 方法

対象：平成22年度に入学した医学部保健学科看護学専攻の学生のうち、養護教諭一種免許状の取得を希望し、教職実践演習以外のすべての科目を履修した21名

期間：平成25年7月～10月

方法：平成25年7月下旬に教職マインドマップ作成のための説明会を実施し、作成のために必要な用紙、説明文、教職キャリアノートを配布し、提出期限を10月末とし、回収した。

分析方法：学生が教職マインドマップに記載したキーワードのうち、図の構成や内容から養護教諭に必要な資質や能力と判断できるものを抽出し、文部科学省が教職実践演習の学習成果として求める「使命感や責任感、教育的愛情等」「社会性や対人関係能力」「児童生徒理解や学級経営等」「教科内容等の指導力」の4群に分類した。また、それぞれのキーワードがどの科目に連結しているかを

表2. 養護教諭に必要と思われる資質・能力に関する記述内容一覧

使命感や責任感、教育的愛情等	件数	社会性や対人関係能力	件数	児童生徒理解や学級経営等	件数	教科内容等の指導力	件数
使命感	16	コミュニケーション能力	111	観察力	62	専門的知識	104
想像力	16	知識	51	指導力	36	判断力	72
人間性	13	技術	39	児童生徒理解力	31	専門的技術	62
責任感	8	コーディネート力	16	児童生徒受容力	12	正しい判断力	14
豊かな人間性	7	協調性	13	知識の活用力	10	正しい知識	14
記 厳しさ	6	社会性	12			生徒指導力	9
述 包容力	4	創造力	5			専門性	7
内 優しさ	3	人間関係調整力	4			応急処置能力	6
容 倫理観	3	企画・運営力	4			カウンセリング能力	3
察する力	3	チームワーク力	4			緊急時対応能力	1
忍耐力	3	行動力	4				
温かい心	2	協働力	2				
児童生徒への愛情	2						
精神的発達	1						
記述計	87		265		151		292

整理し分析した。

3. 結果

学生が作成したマップ例を図1に示した。学生が考えた養護教諭に必要なと思われる資質や能力は795件の記述があり、4群に分類した結果は表2の通りであった。

さらに、履修した教科及び学生自身の経験と養護教諭に必要なと思われる資質能力形成の関連性に関する記述の抜粋を表3に示した。

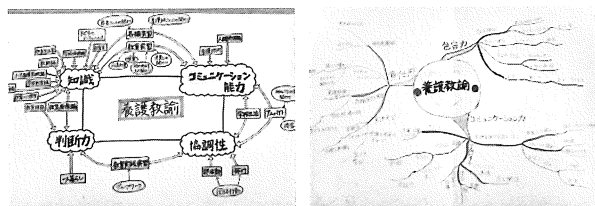


図1 学生が作成した教職マインドマップの例

4. 考察

養護教諭に必要なと思われる資質や能力のうち、最も記述件数が多かったのはコミュニケーション能力であり、ついで専門的知識であった。養護教諭の職務は主に健康診断、健康相談、健康観察等により学校保健情報を把握すること、保健指導や保健学習により健康教育を行うこと、また、救急処置、健康相談活動、学校環境衛生、学校保健計画の立案や運営に参画すること等³⁾であり、すべての職務に高度なコミュニケーション能力と専門的知識が重要であることから、学生はこれらの能力を強く意識して学習に取り組んできた結果が反映されていると推測できる。

また、教科別に培われたと学生が考えている資質や能力は、共通教育科目では主に使命感や責任感、人間性等、人としての基本的な資質が挙げられ、専門科目では、社会性や人間関係能力、専門的な知識等が挙げられていた。

教職マインドマップの作成は、学生がこれまでの学習内容を系統的に省察し、養護教諭としての資質や能力について甚深に考える機会になり得たと考えられる。

5. 文献

- 1) 文部科学省；今後の教員養成・免許制度の在り方，中央教育審議会答申，2005
- 2) トニー・プザン著，近田美季子訳；新版ザ・マインドマップ，ダイヤモンド社，2013

- 3) 文部科学省；保健体育審議会答申，1972
- 4) 文部科学省；養護教諭の新たな役割，保健体育審議会答申，1997

表3. 科目や経験により育成されたと学生が考える資質と能力一覧(抜粋)

科目	使命感や責任感, 教育的愛情	社会性や人間関係能力	児童生徒理解や学級経営等	教科内容等の指導力
英語・ドイツ語・中国語	人間性	コミュニケーション能力		
共通教育科目		協調性 社会性 コーディネート力		
憲法と人権	判断力 使命感			
情報科学	知識 技術			
人間関係論		社会性 コミュニケーション能力	観察力	専門的知識
教師論	責任感 受容力 使命感	コミュニケーション能力 コーディネート力	指導力 児童生徒理解力 判断力	専門的知識
教育学	使命感 行動力 人間性	コーディネート力 コミュニケーション能力	指導力 児童生徒理解力	専門的知識
教職専門科目			生徒指導力 観察力 児童生徒理解力 判断力	専門的知識
教育心理学	豊かな人間性 想像力 受容力	コミュニケーション能力		専門的知識
教育相談	豊かな人間性 温かい心 受容力	コミュニケーション能力	判断力 児童生徒理解力	専門的知識
生徒指導論	使命感 受容力 責任感	コミュニケーション能力	生徒指導力 判断力 児童生徒理解力	専門的知識
看護学概論	人間性 知識	コミュニケーション能力		
看護技術		コミュニケーション能力	指導力 観察力	専門的知識・技術 判断力
専門教育科目	人間性 想像力 使命感	創造力 企画・運営力	指導力	専門的知識・技術 判断力
養護実習	使命感 想像力 優しさ 厳しさ	チームワーク力 コミュニケーション能力 コーディネート力	児童生徒理解力 指導力 観察力	判断力 応急処置能力 専門的知識・技術
基礎看護学実習	想像力	協調性 コミュニケーション能力 コーディネート力	指導力 観察力	判断力 専門的知識・技術
その他	豊かな人間性 忍耐力 責任感	コミュニケーション能力 協調性 社会性	指導力 児童生徒理解力	
ボランティア活動		コミュニケーション能力	観察力 指導力	